

昌賢だより

第13号（2006.12.1）

発行：群馬社会福祉大学図書館

— 巻頭言 —



筆者との一期一会

学部長 尾形和男

「一期一会」という言葉がある。生涯にただ一度まみえること、一生に一度限りであること、などの意味を持つ。

親から与えられた命をもとに我々は自己の人生を歩み、その過程の中で多くの人に出会う。

一期一会と書物との関係については基本的には何の関連性もないように感じられる。しかし、書物の中には執筆者の意志、つまり人としての生き方が圧縮されている。執筆者の人生哲学に出会うその瞬間は、まさに新鮮な出会いである。

しかもこの出会いの色合いは、書物の持つ特色との関係で決定づけられる。書物には小説、啓蒙書、伝記、専門書など多々ありそれぞれ持ち味を放っているが、私の場合はどちらかというと専門書を対象として扱うことが多い。専門書は本来関連領域の最新の情報を伝えることにその一つの使命があるが、自分が更に知りたいと願ってい

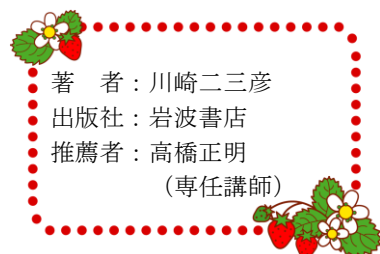
るものに出会い、より新しい知識や技能を理解できた時は大変な衝撃と同時に喜びである。先日、「SPPSとAmosによる心理・調査 データ解析」という最新の本に出会った。これは、事象の因果関係の解明に関わる領域を扱ったものである。その中で、果敢に新しい領域に踏み込み新しい考え方を明らかにして、その成果を伝えようとする開拓精神に満ち溢れた執筆者の生き方そのものにダイレクトに触れることができた。この瞬間に感じた貴重な体験は自分の人生の中でたった一度限りの執筆者との出会いであり、今後の自分の進む方向に多大な影響をもたらす。まさに、「一期一会」である。

自分の生き方、考え方に影響を与える執筆者の真摯な生き方との「一期一会」の出会い。このような新鮮な、衝撃的な出会いを生涯持ち続けたい。



『児童虐待』

― 現場からの提言



この本の著者は、児童相談所の現場の児童福祉司であり、民間の研究団体である全国児童相談研究会の事務局長でもある。この本にも書かれているが、現在の児童相談所を取り巻く状況は超多忙で、職員である著者が毎日業務に追われていることは容易に想像がつく。

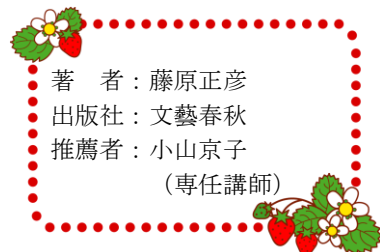
そうした中であって、児童虐待の最前線とも言える児童相談所の児童福祉司という立場から本書を執筆し、児童虐待の現状、法律・制度の問題点、児童相談所現場の取り組みと困難をありのままに描き出していることに、頭が下がると同時に深く敬意を表したい。私も児童福祉の

現場にいたが、目の前の業務に追われるばかりで、自らの実践をこのようにまとめることなど及びもつかなかったので、恥じ入ると同時に敬服するばかりである。

福祉を学ぶ本学の学生が、児童虐待について学ぼうとする時に、この本は入門書として役立つものと思われる。第1章の「児童虐待とは何か」から始まって第6章の「児童虐待を防止するために」までを現状とともに実践を踏まえて改善の方向までをわかりやすく示唆している。本学の学生にも是非読んでほしい一冊として薦めたい。



『この国のけじめ』

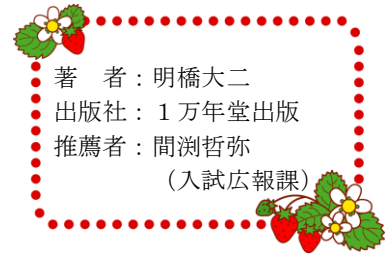


作者は新田次郎・藤原ていの次男で、満州で生まれ、戦後の苦しい生活をした。数学者であり、著書も多い。本書はエッセイである。著者は今の日本を見て「日本には日本の守るべき国柄がある」と言う。国柄とは、日本人が築いてきた文化や伝統、道徳である。日本には、はっきりした四季があり、季節の変化に合わせた生活が営まれる。と同時に育まれた情緒は文化となり、伝統や倫理が形成され、長い日本の歴史となって、日本人の人格を作ってきた。他国にない日本独特の素晴らしい精神である。今、世界情勢は不安な事が多く、日本でも市場

原理、自由競争、規制緩和、教育問題等動きが目まぐるしく、多くの問題を含んでいる。作者は世界的見地から見つめ、日本の危機を憂え、熱く語っている。「日本人として忘れてはならない日本の文化や歴史の中に生きている仁の心を奮い起こし、この国のけじめをもたなければならない」「自由と個の尊重は一人一人のけじめであり倫理である」と。本当の民主主義は人間一人一人が考える人であり、正しい判断ができ、人生において良きリーダーとなれるように努力しなければならないと思う。

『輝ける子』

— 100メートルを10秒で走れといわれてもさ、
いつくら努力しても走れない奴だっているじゃん



この本は、児童養護施設に勤務していた時によく読んだ本です。児童養護施設に入所している子ども達は皆、何かしら問題を抱えています。食事・入浴・宿題指導等の日課に加え、子供同士のトラブルなどに振り回され、毎日が戦争のようでした。一人ひとりにあった指導をするためにはどうしたらいいのだろうと模索していたときに、この本を手に入りました。この本は、子どもの問題行動や子ども達が抱えている問題に触れ、わかりやすく解説してあり参考になりました。中でも、私が特に心に残った一文を紹介します。

「凶暴な奴だと決めつけるのではなく、こ

の子なりにこうならざるを得ない生きざまが絶対にあったんだと、まず考えてみよう。」

私はこの言葉で、子どもの問題行動を解決するためには、その根底にある原因を突き止め解決することが重要であると気づかされました。

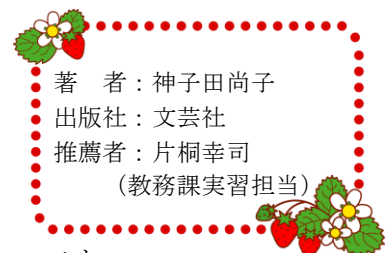
この本はこういった一文がいくつかあり、人と接する上での大切なものを気づかせてくれる様な気がします。これから福祉に従事しようとする学生にとって、参考になると思うので、ぜひ読んでみてはいかがでしょうかでしょう。



『悲しみは突然の雨のように』

皆さんは「人の生死」について考えたことがありますか？本学の社会福祉学科、介護福祉学科の皆さんは、将来、専門職として対象者の方々とかかわるとき、そのことについて深く考えなければならない場面がいつか必ず訪れると思います。

高齢者施設では「死」は避けて通れない大きなテーマの一つです。皆さんがいつしか専門職として利用者の死を迎えるとき、専門職として無力感、支援者としての遣り残し感、隣人としての寂寥感、人間としての無常感などを味わうと思います。利用者の死とは、どれだけ経験を積んだベテラン職員であってもなかなか整理のつけられな



い大きなテーマです。

ただ、悲しみや辛さ、寂しさなどを感じるのは、人として当然の感情ですし、それはとても大切な感情です。ここで必要なのは、皆さんが社会福祉、介護福祉の専門職として、人の生死についてどれだけ真摯な態度で学ぶことができるか、ということだと思います。つまり、ただ感傷的になるのではなく、ただ遣り過ごすのではなく、そのことから専門職としての死生観や介護観をいかに醸成させられるか、ということです。来春、福祉現場に携わるであろう皆さんにぜひ読んでおいてほしい1冊です。

『 塩 狩 峠 』

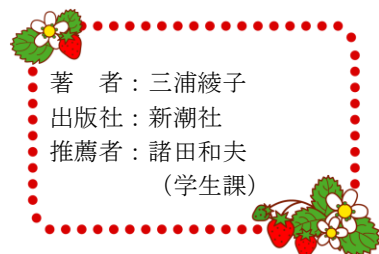
北海道、名寄発札幌行きの蒸気機関車が、二両の客車をひいて塩狩峠をあえぎながら登っていく。国鉄職員の信夫にとって、今日は特別の日、札幌で幼な馴染のふじ子との結婚式の当日なのだ。……「汽車が離れた!」。最後の客車の連結器が離れて逆走しはじめたのだ。直線の先の急カーブは曲がり切れない。信夫の臉に花嫁姿のふじ子が映る。合掌したまま信夫はデッキから身を翻えた…。車内にガクンと強い衝撃、そして車輪は止まっていた……。

『塩狩峠』は実話をもとにして書かれたという。自らを犠牲にして大勢の命を救った一青年の純愛と信仰に貫かれた生涯は、小さな私には到底およぶことのできないものであるが故に、大きな感動と涙無しには読めない名作であると思う。

人間はどう生きるべきか、生きるとはどうあるべきか、それを探る糸口が、この本にはある。私にとって、思い返しては読む何冊かの内の大切な一冊である。



旭川市に三浦綾子さんの代表作である『氷点』の舞台となった外国樹種見本林の入り口に「三浦綾子記念文学館」があり、三年前の冬に行ってきました。三浦文学の原点に出会うことができます。



著 者：三浦綾子
出版社：新潮社
推薦者：諸田和夫
(学生課)

【先生からのお薦め本リスト】



- | | |
|------------------------------------|-----------|
| ・『レポート・論文の書き方』吉田健正／カニヤ出版 | … 鈴木(瑞)先生 |
| ・『悲しみは突然の雨のように』神子田尚子／文芸社 | … 片桐先生 |
| ・『筑豊のこどもたち』土門拳／築地書房 | … 関口(明)先生 |
| ・『「歌」の精神史』山折哲雄／中央公論新社 | … 梅山先生 |
| ・『家族のための<認知症>入門』中島健二／PHP新書 | … 境原先生 |
| ・『星々の舟』村山由佳／文藝春秋 | … 栗原先生 |
| ・『憲法九条を世界遺産に』太田光／集英社 | … 浅川先生 |
| ・『逝きし者の想影』山田富也／明石出版 | … 大竹先生 |
| ・『国家の品格』藤原正彦／新潮社 | … 奥泉先生 |
| ・『小説 上杉鷹山／上下』童門冬二／学陽書房 | … 山岸先生 |
| ・『子育て世帯の社会保障』国立社会保障人口問題研究所／東京大学出版会 | … 高橋(種)先生 |
| ・『グリム童話の世界』高橋義人／岩波新書 | … 稲村先生 |
| ・『がんばらない』鎌田寛／集英社 | … 諸田先生 |
| ・『自分らしくいるための50の小さな約束』廣瀬裕子／大和書房 | … 塚越先生 |
| ・『孤独と不安のレッスン』鴻島尚史／大和書房 | … 石坂先生 |
| ・『究極の介護サービスを創る』遠藤正一／日本医療企画 | … 石橋先生 |



学 生 か ら の お 薦 め 本



『虹の女神』

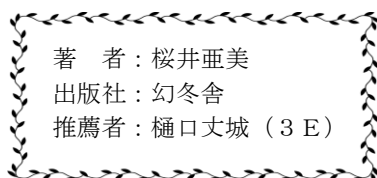
— Rainbow Song

読書とは、無用な道楽であり生活内容を豊かにする有用なもの、読書それ自体が独自の精神生活を所有するものである。私はこの無用な道楽である読書が好きである。

私の紹介する本は、「虹の女神」である。この本は映像会社に勤める青年が、ある朝ニュースで、学生時代の親友がアメリカで飛行機事故に遭ったと知る。夢をひたむきに追う彼女にいつも自分が歩く道を照らされてきたのに…映研時代に彼女が監督した自主映画を観て、彼女が友情と恋の狭間で選んだあまりに切ない答えに気付く。揺れ動く二十代を鮮やかに描いた小説である。

最近小説から映画化されるものが増えてきている。この「虹の女神」・「天使の卵」・「東京タワー」などが小説から映画化された。

映画を観る前、観た後に原作を読むことにより、面白さが倍増するのではないのでしょうか。これから夜が長くなるので、本を読んでもみるのはどうですか？

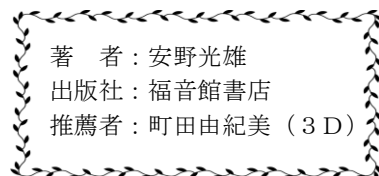


『旅の絵本』 シリーズ

大人でも楽しめる絵本です。ぜひ一度、開いてみることをお勧めします。

一人の旅人が、ある国を旅します。その様子が全ページに渡って描かれていて、文章はありません。例えば、第6巻で旅するのはデンマークで、あるページにはアンデルセン童話の裸の王様が行進しているシーンが描かれています。しかし、1ページに描かれているのは、それだけではありません。一つの村や町が描かれていて、その中に童話や著名人物、有名な建築物などが紛れ込んでいるのです。

気付くことや気になるものは人それぞれ、お話は自分でつくれるのです。今まで旅人は、中部ヨーロッパ、イタリア、イギリス、アメリカ、スペイン、デンマークを旅しています。あなたも旅人と共に、各国をまわってみてはいかがでしょうか。



『君と会えたから……』

The Goddess of Victory

この本の主人公であるヨウスケは、高校最後の夏を将来に対する漠然とした不安を抱きながらも、自分のやるべきこと・やりたいことを見つけれずにただ無気力に一日一日を過ごしていた。

ある夏の日ヨウスケは美しい女の子ハルカと出会う。そして、彼女からその後のヨウスケの人生を変える大切な教えることになる。しかし、ハルカには秘密があった。

ヨウスケはハルカに合うたびに恋心を募らせていた。そして、今日こそ想いを伝えようとするけれど…。

私たちは日々の生活の中で明日は必ず来るもので時間は沢山あるものと思っています。しかし、『明日』は必ず来ると約束されているものではないのです。事故や病気などによって『明日』は失われてしまうこともあります。

何が起るかわからない。だからこそ一日という時間を大切に使わなければいけないとこの本を読んで思いました。

やりたいこともやらなければいけないことも生きているからこそ出来ることだと思います。

読んでみるといろいろ考えさせられる話でした。けれど、読んで損はない話だと思うので、読んでみてほしい一冊です。

著 者：喜多川泰
出版社：Discover
推薦者：山口愛美（2D）

『キスまでの距離』

おいしいコーヒーのいれ方 I

今回私が紹介するのは、今TVドラマや映画で放映されている「天使の卵」や「天使の梯」の著者である村上由佳さんの作品の一つです。それは、「おいしいコーヒーのいれ方」シリーズです。今現在この本は8巻まで出版されていて、一冊500円くらいでおつりがくるほど安価です。では、今回はシリーズの第一作目となる、「キスまでの距離」を少し書きたいと思います。主人公である勝利は、父の転勤からいとこ姉弟と同居するはめになります。そんな中、久しぶりに会ったいとこの姉かれんの5年での変貌は、勝利を驚かせるが…なんと、勝利の高校の新任美術教師ということもさらに驚かせる。そして、日がたつにつれ、勝利は5歳年上でいとこのかれんを気になり始めて…というような内容です。実際私は、一冊読み始めたらとまらなくなって、続巻を買ってしまいました。秋の夜長の季節は過ぎようとしています、この二人の恋の行方がいったいどうなっていくのかを見守りながら…彼氏彼女のいる方は、彼らの気持ちを感じながら読んでみてはいかがでしょうか？

著 者：村上由佳
出版社：集英社
推薦者：上野隆則（2D）



『 竜 の 騎 士 』

私が紹介する本は、「竜の騎士」という本です。内容は、竜のルングと猫に似たコボルトと人間のみなし子ベンが「空の果て」を目指して冒険するというファンタジーです。一見子供向けの本ですが私たちも楽しんで読める本だと思います。私自身は、本の表紙を見てすぐに気に入って、買いました。みなさんも一度は、手に取ってみてはいかがでしょうか。また、少年ベンの成長していく姿もみどころの一つではないかと私自身そう思います。その他にも、妖精や怪物や人造小人などいろいろでできます。もし最近、読む本がないのなら一度は、ファンタジーの世界に浸ってみてはいかがでしょうか。読むのはたいへんですけどあなたをファンタジーに連れ込むでしょう。ぜひ読んでみてください。

著 者：コルネリア・ファンケ
出版社：WAVE
推薦者：石坂幸大（1C）

読み物(小説)が増えました！

- ・「ゲド戦記」
- ・「ナルニア国物語」
- ・ロアルド・ダール コレクション
↑ 映画『チャーリーとチョコレート工場の秘密』の原作者
- ・ダイアナ・ウィン・ジョーンズ作品
↑ 映画『ハウルの動く城』の原作者
- ・「愛蔵版 県別ふるさと童話館」
- ・「なるには BOOK」シリーズ
—— 等々。

この他にも、エッセイや体験記などを沢山受け入れしました。調べ物の途中に一息。まずは図書館に足を運んでみてはいかがでしょうか？

イベント情報

— ブックトークの試演会 —

日 時：平成 19 年 1 月 17 日(水)
午後 5 : 10 ~ 6 : 30
場 所：図書館
主 催：図書館・学生図書委員会

<統計資料>

注) 平成 17 年度の統計データを基に作成しています。

		総 記	哲 学	歴 史	社会科学	自然科学	技 術	産 業	芸 術	言 語	文 学	合 計
蔵書数	新 規	108	167	19	178	60	17	5	345	23	171	1,093
	総 数	744	3,113	414	12,239	5,932	563	58	1,473	1,142	1,533	27,211
貸出冊数	学 生	14	309	12	726	117	8	4	154	21	235	1,600
	全 体	15	332	12	826	113	16	5	180	21	266	1,786

単 位 / 冊



上手にインターネットを活用しよう！

～ 欲しい資料を上手に入手するには ～



授業の課題や国家試験の勉強をしていて、「〇〇からの通知文・報告書・判例等の全文が見たいのに資料が見つからない！」なんてことはありませんか？「抜粋や概略は教科書に載っているのに…」と、歯がゆい思いをした人もきっといるはずです。

今回は、そんな資料を探す素敵なサイトを紹介します。

*** ** * ** * ** * ** * ** * ** * ** * ** * ** * ** * ** * ** * ** * ** * ** *

— 例題 —

1973(昭和48)年
厚生事務次官通知
「療育手帳制度について
(療育手帳制度要綱)」

の全文が見てみたい。



【お薦めサイト一覧】

<電子政府の総合窓口(e-Gov)>

<http://www.e-gov.go.jp/index.html>

<法令データ提供システム>

<http://law.e-gov.go.jp/cgi-bin/idxsearch.cgi>

<厚生労働省法令等データベースシステム>

<http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/index.html>

<裁判所 HP> <http://www.courts.go.jp/>

※ 判例検索システムがあります

実際に、使ってみましょう！



1, 電子政府の総合窓口(e-Gov)
(イーガブ)を開きます。



2, 「所管の法令、告示・通達等」を
クリックします。
(各府省所管の法令・告示・通達など
を調べることが出来ます)



3, 厚生労働省:
「厚生労働省法令等データベース
システム」を開きます。
(厚生労働省のホームページからも
検索可能です)



4, 「通知検索」のうち「本文検索へ」を
選んで、「療育手帳制度について」と
検索語を入力してみましょう。



5, 該当項目の中に、
「療育手帳制度について」
(昭和四十八年九月二七日)
(発児一五六号)
(各都道府県知事・各指定都市市長
あて厚生事務次官通達)
が見つかるはずです。



編集後記

図書館報第13号をお届けします。

今年は学生のボランティアの力を借りて、夏休み中に書架の配置替えを行うことができました。以前の並び方から一新して、スッキリと見やすい図書館を目指したつもりです。

暑い中書架の大移動を手伝って下さった学生の皆さん、本当に有難うございました。

最後に、図書館報第13号の発行にあたり、お忙しい中原稿を執筆いただいた方々に、心より感謝申し上げます。

(図書館)